

▼ 公社HP

<https://www.adhokkaido.or.jp/>



農業公社 ニュース



(第25号)

時は早10月。令和6年度も半年間が経過いたしました。
道公表の農作物の生育状況(9/15現在)によりますと、今年は各作物とも生育は早く
進み、収穫作業も概ね同様ですが、牧草の2番草の収穫については、降雨の影響に
より道北の留萌・宗谷管内で遅れが目立っていると報告されています。
当公社の草地整備事業においても、天候不順により機械稼働や播種工事の進捗に
一部影響は出ましたが、おかげさまで、例年通りの時期にほぼ完了となりました。

「農業公社ニュース」の第25号をお届けいたします。

■ 令和6年度 第2回通常理事会を開催

さる9月19日、今年度2回目となる通常理事会を当公社会議室において、
開催いたしました。

開会挨拶の冒頭、小田原理事長からは、6月20日の定時評議員会で選任
された関口理事、佐藤理事、そして長屋代表監事をお迎えし、新たな役員体
制での初めての通常理事会となる旨の発言がありました。

続いて農作物の生育状況、当公社の草地整備事業の進捗状況にふれる中で、
牧草2番草の収穫遅れが地域によって目立っていること、昨年のような高温
障害による収量減や品質低下などが避けられ、多くの作物で平年作以上が期
待される一方で、牧草に関しては、1番草を含め北の地域で刈り遅れによる
広い範囲での品質低下が避けられそうにないことにふれ、生産資材価格が高
止まりする中、こうした気候変動等による影響も加わるなど、農業経営をめ
ぐる環境は予断を許さない状況との言及がありました。

食料・農業・農村基本法が本年6月に改正・施行された中、農業者が減少
するなど生産基盤の脆弱化が懸念される状況下において、当公社が担う「人
と農地」に係る施策の重要性、さらには飼料価格が高止まりする状況下にあ
って、「草地整備」に係る事業の重要性は一層増すものとの認識を改めて示

しながら、当会社における本年度事業等に関し、関係機関・団体と十分連携した公社営整備事業の積極的な推進、来年度から本格的にスタートする「新たな農地制度」への円滑な移行に向けた対応、「農場HACCP推進農場」指定に向けた取組など畜産振興事業の着実な推進についてふれました。

議事については、「令和6年度事業の進捗及び収支見通し（8月末現在）」などについて報告を行う中、役員から地域の状況等を踏まえた多様な意見が出されるとともに、決議事項である「固定資産等の取得及び導入」などについて審議が行われ、全会一致で承認されました。



▲ 第2回通常理事会の様子

【総務部】

■ 北大農学部を拠点に北海道農業を学ぶ

～ JICAによるアフリカ政府職員研修を当社がサポート ～

さる8月8日から9月10日にかけて、「JICA（国際協力機構）北海道」が主催する途上国政府職員研修「農民参加による農業・農村開発」が実施されました。

当社は、講師の依頼や現地調査の手配などの実務を主催者から受託しています。例年実施されている研修ですが、コロナ禍でリモート開催が続き、昨年4年ぶりに対面研修が復活したものです。

研修生はアフリカ圏4ヶ国の農業関係政府職員4名で、本格的な開発から短期間に農業地帯を築いた北海道の政策や歴史、農民・農業団体の取組を研修テーマとして、外部講師による講義・演習、先進経営や農業団体、市場・施設への視察など、1ヶ月を超えるプログラムです。

今回は、例年使用している JICA 研修施設が改修中のため、北海道大学農学部の講義室を使わせていただき、そこを拠点に研修を実施しました。

各分野の専門家による講義や現地調査・視察など目一杯の日程の中、母国から遠く離れた異文化の国で、研修生の皆さんが意欲的に向き合っておられたのが印象的でした。当社も事前準備や当日の同行などのサポートに努めさせていただきましたが、大きなトラブルもなく終わることができ、ホッとしました次第です。

最終日の閉講式には、北大キャンパス内でジンギスカンパーティーを開催し、研修生や関係者一同も大盛り上がりでした。

講師の方々はじめ、視察や調査でお世話になった皆さん、ありがとうございました！



▲ 北大農学部内での講義



▲ J A新しのつ の米貯蔵施設にて

【担い手支援部】

■ 「先輩就農者によるミニセミナー」も好評

～ 8月3日 新規就農フェア開催！～

さる8月3日（土）に札幌コンベンションセンターで、今年度1回目の就農相談会「北海道新規就農フェア」を開催しました。全道から60ブースの出展があり、初出展も見られるなど、地域の熱量が感じられました。

夏休み期間の開催ということで、来場者数にどのような影響を及ぼすかが主催者として気がかりでしたが、幅広い層の相談者が訪れ、最終的に174名の来場者をお迎えすることができました。

今回は4名の先輩就農者・研修生を講師にお招きし、体験談やアドバイスなどを伝えていただくミニセミナーを、会場の一角で実施しました。

先輩方からは、就農希望者にヒットする有益で具体的なお話をいただきました。また、司会者はNHKのアナウンサーを退職後に就農し、現在は農業の傍らフリーアナウンサーを営む「半農半アナウンサー」の太細真弥（ださいまや）さんをお願いし、自らの経験も踏まえた進行で、セミナーを盛り上げていただきました。



▲ 「半農半アナウンサー」の太細さん



▲ 幅広い層の来場者



▲ 迷ったら当公社のブースへ



▲ 先輩就農者の話を聞けるミニセミナー

次回の当公社主催のフェアは、来年3月を計画しています。出展者・来場者双方の「満足度向上」をめざして準備に取り組みます。

多数のご出展・ご来場をお待ちしています！

【担い手支援部】

■ 公社営整備事業としての2事業を全道33地区で実施中

当公社では、昭和47年度の農業公社牧場設置事業を皮切りに、草地の造成・整備や暗渠排水などの「基本施設整備」、畜舎やサイロ、家畜排せつ物処理施設などの「利用施設整備」を一体的に実施してきました。

各種事業の変遷を経て、令和6年度は次の2事業を実施しているところです。

○ 畜産担い手育成総合整備事業（再編整備事業）	32地区	事業費 3,250 百万円	（継続28地区・新規4地区）
○ 畜産環境整備事業（資源リサイクル事業）	1地区	事業費 489 百万円	（継続1地区）
計	33地区	事業費 3,739 百万円	

公社営の主力事業である「畜産担い手育成総合整備事業（再編整備事業）」は、草地の造成・整備や暗渠排水などの基本施設整備と利用施設の整備も実施しており、今年度も利用施設整備を行っているところです。

この畜産担い手育成総合整備事業（再編整備事業）においては、令和元年度からガイドライン（＝土地改良事業における地方公共団体の負担割合の指針）が設定され、公社営事業による草地整備等の恒久的な農家負担軽減や地方財政措置の活用による計画的な事業推進が可能となっています。

また、「畜産環境整備事業（資源リサイクル事業）」は、老朽化した家畜排せつ物処理施設（堆肥センター）の維持・管理コストの削減や施設の長寿命化を図るため、道の「施設保全対策実施方針」に基づき、道内では唯一となる1地区（黒松内地区）を令和3年度から実施しており、昨年度から本格的な機能保全対策工事（発酵棟改修工事等）を進めています。

▼ 畜産担い手育成総合整備事業の利用施設整備（2地区）の概要

畜産担い手育成総合整備事業（再編整備事業）
計根別南地区（別海町） 畜舎

○整備の概要

畜舎 1棟 4,417.23㎡
 附属機械 搾乳ロボット 1式 4台
 その他附属機械 1式

○畜舎



畜産担い手育成総合整備事業（再編整備事業）
枝幸地区（枝幸町） 畜舎

○整備の概要

畜舎 1棟 1,790.36㎡
 他附属工事 1式
 附属機械 搾乳ロボット 1式 2台
 その他附属機械 1式

○畜舎



【農村施設部】

■ 第2回労働安全衛生強調旬間の取組を推進中！

全国労働衛生週間（令和6年10月1日～7日）、同準備期間（令和6年9月1日～30日）の運動期間に合わせて、「令和6年度 第2回労働安全衛生強調旬間」を設定のうえ、秋工事シーズンの中、当公社職員を労働災害から守るための取組を推進しています。

【公社】令和6年度 第2回労働安全衛生強調旬間

準備期間 9月1日（日）～30日（月）

本期間 10月1日（火）～10日（木）

〈全国労働衛生週間スローガン〉
お
推してます みんな笑顔の 健康職場

◇主な取組内容

〈圃場現場の安全管理〉 〈施設現場の安全巡視〉 〈機械センターの安全点検〉



〈安全衛生関連の研修会〉

〈安全衛生DVDの視聴〉



【統括労働安全衛生委員会】

■ 「農場HACCP推進農場」指定に向けた研修会とキックオフ会議を開催

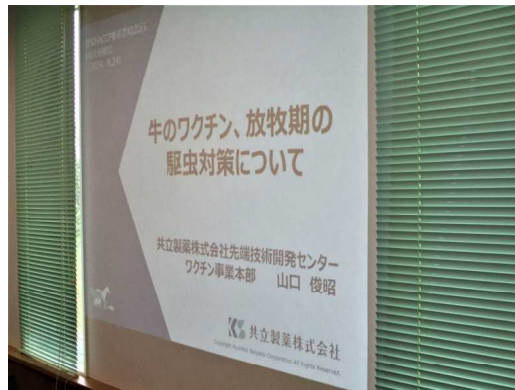
当公社の第4次中期経営方針（令和5～7年度）に基づく「農場HACCP推進農場」（以下「推進農場」という。）の指定に向けて、さる9月24日に研修会とキックオフ会議を開催しました。

「研修会」では、当牧場が業務の中で実施しているワクチン接種や駆虫剤投与について、共立製薬株式会社の山口エキスパート（獣医師）から、薬剤の効果や取扱いに関する基本的なご講義をいただき、全職員で理解を深めることができました。

また、令和7年3月の推進農場指定に向けた「キックオフ会議」では、農場HACCP認証審査員の藤巻リードインストラクター、十勝農業改良普及センター本所及び南部支所の普及指導員、西川獣医師に外部専門家として参加いただき、当公社の小田原理事長の開会挨拶の後、申請スケジュール、当牧場のHACCPチーム組織図やその役割について確認したところです。

今後、当牧場職員による「飼養衛生管理マニュアル」の検討を月1回程度実施し、推進農場指定以降におけるHACCPシステムの導入に向けて意識を高めていくこととなります。

外部専門家からは、「これまでの事例を見ると、HACCP導入の過程で、職員はスキルアップし、やりがいを持って取り組むようになる。我々も情報提供や視察研修等で協力するので、頑張ってもらいたい」との激励の言葉をいただきました。



▼ HACCP研修会の様子 ▼

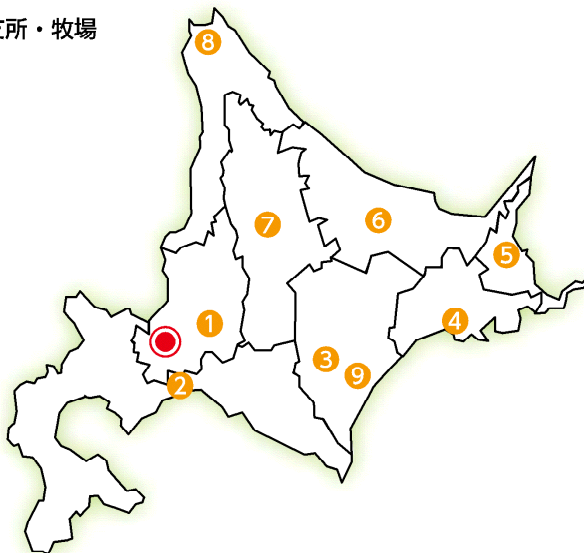


▲ キックオフ会議の様子（理事長挨拶）

【畜産部・十勝育成牧場】

本所・支所・牧場所在地

● 本所 ①～⑨ 支所・牧場



本所

〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目1番地23
TEL. 011-241-7551 (代表) FAX. 011-271-3776
<https://www.adhokkaido.or.jp>



監査室

TEL. 011-241-7557

農業経営相談室

TEL. 011-522-5579

農場整備部

TEL. 011-241-7554

総務部

TEL. 011-241-7551

農用地部

TEL. 011-241-5751

畜産部

TEL. 011-241-5761

担い手支援部

TEL. 011-271-2255

農村施設部

TEL. 011-241-5701

統括労働安全衛生委員会

TEL. 011-241-7557

支所・牧場

① 岩見沢支所

〒068-0025 岩見沢市5条西5丁目2番地1 空知農業会館
TEL. 0126-23-2178 FAX. 0126-23-4260

② 苫小牧支所

〒053-0021 苫小牧市若草町5丁目5番3号日胆農業会館
TEL. 0144-32-8171 FAX. 0144-32-3215

③ 帯広支所

〒080-0022 帯広市西12条南6丁目3番地1 農協連ビル
TEL. 0155-65-0607 FAX. 0155-33-1503

④ 釧路支所

〒085-0018 釧路市黒金町12丁目10番地 釧路農業会館
TEL. 0154-22-1538 FAX. 0154-25-4798

⑤ 中標津支所

〒086-1007 標津郡中標津町東7条南1丁目1番地2 根室農業会館
TEL. 0153-72-3296 FAX. 0153-73-2080

⑥ 北見支所

〒090-0833 北見市とん田東町617番地
TEL. 0157-25-2826 FAX. 0157-25-9188

⑦ 旭川支所

〒070-0030 旭川市宮下通4丁目2番5号 JA上川ビル
TEL. 0166-25-2613 FAX. 0166-26-3464

⑧ 稚内支所

〒097-0001 稚内市末広4丁目2番31号 宗谷農業会館
TEL. 0162-33-3321 FAX. 0162-33-7339

⑨ 十勝育成牧場

〒089-2261 広尾郡大樹町字尾田708番地
TEL. 01558-7-5121 FAX. 01558-7-5159